

## 東京大学大学院教育学研究科案内(2018)の訂正について

東京大学大学院教育学研究科案内(2018)の内容に一部誤りがありました。

お詫びして下記のとおり訂正いたします。

### 記

●訂正箇所:教育学研究科案内 8ページ【スタッフの研究分野】

●訂正内容:教育心理学コースから以下の教員を削除。

(※大学院担当コースの誤り。)

・教授 秋田喜代美 (大学院担当:教職開発コース)

・教授 藤村宣之 (大学院担当:教育内容開発コース)

・助教 植阪友理

平成 30 年 5 月

東京大学大学院教育学研究科

# 教育心理学コース

## 【スタッフの研究分野】

■教授 **市川伸一** (教授・学習心理学)

学習、理解、推論、動機づけといった問題を軸に、認知理論と教育実践をつなぐことがテーマです。実験や調査による基礎研究とともに、授業改善や社会教育の実践に直接関わりつつ、「教育をつくりながら考える教育心理学」を標榜しています。自らの「学ぶ経験」、「教える経験」を心理学研究として生かしてみたいという学生の方を歓迎します。

■教授 **南風原朝和** (教育情報科学)

個についての理解を深める上で、集団データから得られる統計的指標がどのような意味をもつのかといった、心理学研究と統計的方法との関係についての方法的な問題に興味があります。また、テストの統計的分析にも関心を持っており、入学試験のような実際の測定・評価における様々な問題に対して、実証的に迫っていきたくと思っています。

■教授 **秋田喜代美** (教授・学習心理学)

学校や幼稚園・保育所という制度的教育の場での、子どもと教師・保育者の学習や発達のプロセスとその発達を支える社会文化的環境や活動について解明しています。談話などの文化的道具に着目し、子どもたちがどのように書き言葉や談話を学び、学習していくのか、また教師は授業をどのようにデザインし実践をし同僚と共に協働省察をしているのかを探究しています。

■教授 **岡田 猛** (教育認知科学)

「アイデアが生まれて、それが形になっていく過程」に興味があり、芸術家の創造活動について研究しています。「芸術家はどのように作品を作っていくのか」「独創的なアイデアはどのように生まれるのか」といった問いについて、認知科学的な解明を目指しています。その際、フィールドワークに基づいて「創造の現場で起こっている認知活動」についての仮説を生成し、それを心理学実験で検証するといったマルチメソッドを用いて研究を進めています。

■教授 **遠藤利彦** (発達心理学)

人生早期に子どもと養育者との間に形成されるアタッチメントがいかなる要因によって規定され、それはまたその後の子どもの(特に社会情緒的側面の)発達の道筋にどのように影響するのかについて関心を持っています。さらに、人の様々な感情がどのような過程を経て生じてくるのか、そしてそれは子どもの心身の発達全般にいかなる意味を有するのかについても、進化論あるいは文化論の視点を交えながら、考察しています。

■教授 **藤村宣之** (教授・学習心理学)

子どもが数学的概念や科学的概念(自然、社会)の理解を深めていくプロセスや学習観の変容過程、それらを他者との関わりの中かで促進する授業のあり方に関心があります。小学生から高校生までを対象に、個別実験・面接、記述形式の調査、授業時の発話や記述内容の分析、小・中・高の教員との実践共同研究などにより研究を進めています。子どもの心理的变化のプロセスに着目することで、教授・学習研究、認知発達研究、授業過程研究といった心理学研究を関連づけることをめざしています。

■教授 **針生悦子** (発達心理学)

生まれたときには本当に無力に見えた子どももやがて、ことばを話し、人の気持を思いやった行動がとれ、新しく直面した問題にもうまいやり方で対処できるようになっていきます。この当た

り前に見える変化がどのようにして起こっているかを知りたいと考えています。特に言語の獲得とからめて子どもの世界に対する見方はどのように構造化されていくのかといったことに興味があります。

■准教授 **岡田謙介** (教育情報科学)

心理・教育・行動データをモデリングし、現象の理解と予測に役立てることに興味を持っており、そのためにとくにベイズ統計学的方法論と応用を研究しています。心や行動について科学的に理解していくためにも、社会科学的な問題を実証的に解決していくためにも、統計学の理論と方法を役立てることのできるフィールドは私たちの未来に広がっていると思います。

■助教 **植阪友理** (教授・学習心理学)

認知心理学を生かした個別学習相談、授業デザイン、テスト開発などを幅広く行っています。特に、学び方(学習方略)の改善もあわせて行う授業実践のあり方を、心理学的研究として検討するのみならず学校現場と協同しながら開発することに力を入れています。

## 【特色】

専門分野は、教授・学習心理学、発達心理学、教育認知科学、教育情報科学の4領域にわたります。教授・学習心理学では、学校や園における学習を、発達心理学では、感情や認知の発達を、教育認知科学では、学校に限定されない現実場面における学習や認知活動を、教育情報科学では、学習をはじめとした人間のふるまいの測定・解析方法をあつかいます。これら幅広い視野と専門的手法をそなえた研究者の育成をめざしています。

## 【2018(平成30)年度 講義題目と担当教員】

講義題目	担当教員	
	職名	氏名
認知と教育	教授	市川伸一
	助教	植阪友理
感情と進化・文化	教授	遠藤利彦
ことばと認知の発達 I	教授	針生悦子
創造的認知の心理学 I	教授	岡田 猛
心理統計学概論	教授	南風原朝和
心理統計学の諸問題	教授	南風原朝和
ベイズ統計学と認知モデリング I	准教授	岡田謙介
ベイズ統計学と認知モデリング II	准教授	岡田謙介
教授・学習過程	教授	市川伸一
	助教	植阪友理
Communication Strategies for Education Researchers	非常勤講師	Emmanuel Manalo
関係性と子どもの社会情緒的発達	教授	遠藤利彦
ことばと認知の発達 II	教授	針生悦子
創造的認知の心理学 II	教授	岡田 猛
心理統計学の近年の展開	准教授	宇佐美慧
心理統計学演習	准教授	岡田謙介
一般化線形混合モデルとMCMCによるベイズ推定	非常勤講師	清水裕士
教育心理学論文指導	教授	市川伸一
教育心理学論文指導	教授	遠藤利彦
教育心理学論文指導	教授	針生悦子
教育心理学論文指導	准教授	野澤祥子
教育心理学論文指導	教授	岡田 猛
教育心理学論文指導	教授	南風原朝和
教育心理学論文指導	准教授	岡田謙介
教育心理学論文指導	准教授	宇佐美慧